



卓話講師：株式会社日野屋取締役 一般社団法人日本ソムリエ協会認定ソムリエ 荻野悦子様
卓話演題：「ワインに親しむ」

「これからの日本における太田胃散の役割」(株)太田胃散 代表取締役社長 太田淳之様 9月25日卓話
弊社 CM の「ありがとう、いい薬です」というフレーズを皆さん耳にされたことがおありかと思えます。こちらの CM は 40、50 年前に 4 代目、私の祖父が考えたものでしてその当時からショパンのプレリュードも使わせていただいています。「良い薬ですので、ぜひ安心してください」という思いを込めて祖父がつけたと聞いています。お客様に使っていただくにあたり、しっかりとした商品を提供することが医薬品メーカーとしては大切な仕事ですので、その思いをフレーズにしております。本日は太田胃散について、日本の社会環境や太田胃散の役割について話をさせていただきたいと思えます。

私共の創業は 1879 年です。145 年目に入りました。もとは日本橋の呉服町にありましたが、現在の本社は文京区千石、工場は茨城県牛久市にあります。社員は 160 名程です。初代は太田信義と申しまして社名も「太田信義薬房」といいました。商品のラインナップとしては、缶に入った粉薬こちらがメイン商品として、太田胃散 A 錠剤、太田漢方胃腸薬など胃腸薬だけで 7、8 種類展開しています。これに加えて整腸薬も便秘向け軟便向けなど作らせていただいています。その他、青汁、ヨーグルト種菌、美容むけのものも展開しています。創業のルーツとしては、初代太田信義自身が胃弱体質の人間でございました。もともとは壬生藩士でしたが廃藩後に商人に転向いたしました。ビジネスをさがす中、大阪へ出張にでました折に、緒方洪庵先生の娘婿、緒方拙齋先生に診察していただいた際に処方された薬がとてもよく効いたということです。ぜひこれを自分の力で全国に広めたいと、拙齋先生に申し出てこの処方を譲り受けまして広めたのが始まりで今に至ります。自分がよくしていただいたので、それを世の中に還元していく、良品を送り出すということ、そういう意味を含めて企業理念に「奉仕の精神」を掲げさせていただいています。「和・進歩・奉仕・健康・気力」を社是として私まで 6 代にわたり継続しています。

次に社会環境というところで、人口ピラミッドの推移、また国民医療費の推移、超高齢化、人生 100 年時代というところでお話をさせていただきたいと思えます。皆様ご存知かと思えますが、2000 年以降高齢者の割合が増えています。こうなると医療費の問題が非常に厳しくなってきます。医療費は 47 兆円かかり、財源が枯渇してきているというところで、いかに保険制度を維持していくのか、さらに 2025 年問題もあります。団塊の世代の方が後期高齢者となり、75 歳以上の方が人口の 20 パーセントになってきます。現役世代 9 人で 1 人の方を支えていかねばならないというところで、非常に大きな問題かと思えます。そのような中、国としてもこのセルフメディケーションの推進をしています。当初厚労省の HP には、「軽度の身体の不調に対し、賃信薬品を用いて対処すること」というのが定義となされてきておりましたが、昨今は、「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で対処すること」と変化し、「まさに自分で自分の健康を管理する」ということを国としても推進しています。医薬品で対処する領域をしっかりと明確にしていかないと医療費の問題解決ができないということで、この 2、3 年大きく動きが変わってきているのを肌で感じています。やはり、病気になる確率を下げる生活習慣、そういったことをここに意識していくのが大切ではないかと思っています。日本には昔から「養生」という言葉もあります。「食事などで自分の健康を保つ」という考え方ですが、個人的にはこちらの方がしっくりきますし、わかりやすいのではないかと考えています。

そのような状況下での私どもの役割ですが、一番には、「おなかから日本を元気に」することです。食事を楽しく食べてもらえるように胃腸の健康を守る、正しい胃腸に関する情報発信を行う、若年層に若いうちから胃腸のケアを行いダメージの蓄積を減らす大切さを発信する、症状別の胃腸薬の提案を行うことが私共にもできるかかと考えています。二つ目が「フレイル(食欲不振)対策商品の開発」です。栄養を少量でもしっかりと吸収できる胃腸への商品開発、その他も含めたフレイル(食欲不振)対策商品の開発、こちらについては漢方薬剤を用いて検討を進めています。日本の胃腸内、世界の胃腸、そればかりでなく、生活の質を高めていけるような、健康寿命をしっかりと伸ばしていけるような、商品なり情報の提供をしていくことが企業の役割ではないかと思っています。我々も日々成長できればと考えておりますので皆さんも何かあれば忌憚ないご意見等ご指導いただければありがたいことです。

ニコニコ (年間目標 800,000 円)

9月25日(水) 例会 35,000 円

太田社長卓話を引き受けて下さりありがとうございます。

秋山会員

「太田胃散、いー薬です！」卓話楽しみです。品川女子学院の皆さん、フェンさんマルゴーさんようこそ

小室会員

品川女子の皆様、能登の発表たのしみにしています、先輩より

白井会員

山田さん品女の文化祭に連絡せず参加できなくてごめんなさい

相沢会員

上柳さん高野さんお世話になりました

宮尾会員

山田さんゴルフコンペ幹事お疲れ様でした。

上柳会員

【ゴルフ同好会】 18,000 円

【季節の挨拶】

勝山会員 沖野会員 泰地会員

井上会員 小熊会員

■ニコニコ集計■

2024-25 年度 累計金額 259,000 円
(年間目標 800,000 円)

◆例会出席報告◆

9月25日(水) 例会

出席者 12名 ビジター・ゲスト 20名

出席率 55.8% 前々回出席率 78.9%

◆例会予定◆

◆10月9日(水) 休会

◆10月16日(水) 勝山義晴会員

「クラブ50年の歩み」

◆10月23日(水) 休会

◆10月30日(水) 幅田功会員

「国際奉仕の話」(仮)

◆報告事項 お知らせ◆

9月25日例会 会長報告

■ 米山記念奨学生 9月分奨学金授与
フェン テンジョウ さん



■ 青少年交換派遣生 9月お小遣い授与
マルゴー シファー さん



9月25日例会 ビジターゲスト

・卓話講師 太田淳之様 ・東京品川学院 IAC 16名

品川女子学院 IAC 能登合宿報告

品川女子学院インターアクトクラブの学生14名が顧問の先生方と共に来会し、8月に開催した能登半島合宿の報告を行いました。



1 合宿の流れ

新幹線: 東京→金沢

車: 金沢→輪島

1日目

輪島市内見学

宿、ボランティアセンターの方などに挨拶
白藤酒造様訪問

2日目

児童クラブ訪問

ボランティア活動

3 活動内容 白桃酒造様



震災前

震災後



4 活動内容 ボランティア活動

